

## 使用目的に応じた用量の提案

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、薬剤の使用目的に応じて適切な用量を提案することで、治療効果の向上に貢献できた事例のプレアボイドを紹介いたします。

### 患者背景

Jさん

▶ヘルペス脳炎疑いで入院となった患者

【処方】ピクロックス®点滴静注（250 mg）1回1アンプル 8時間ごと  
（一般名:アシクロビル）



医師



お疲れ様です。  
Jさんのアシクロビルについてご相談があります。

どうされましたか？



薬剤師

アシクロビルの1回量について、ガイドライン等を参考に検討してみました。  
**単純ヘルペス脳炎ガイドライン**では、ヘルペス脳炎が疑わしい症例に対しては、10 mg/kg/回で投与することを推奨されており、添付文書の最大投与量としても認められている量です。  
Jさんの腎機能は正常範囲内ですので、現在の5 mg/kg/回（250 mg/回）から**10 mg/kg/回（500 mg/回）**への増量で問題ないと思われるのですが、いかがでしょうか？



そうですね。  
Jさんの体重を考慮して、1回500 mgに用量を増やして投与を続けてみましょう。



後日



Jさんこんにちは。  
お薬増えてから体調にお変わりありませんか？

とくに変わりないですよ。



わかりました。また何かお変わりありましたら、教えてください。



参考：単純ヘルペス脳炎ガイドライン 2017

アシクロビルの増量後、腎機能の悪化もなく、ヘルペス脳炎の症状も良好に経過した。抗ウイルス薬の適切な投与量を提案することで、薬物療法の効果向上に貢献できた。